

つくば市平成 30 年 2 月定例記者会見 資料一覧

平成 30 年 2 月 1 日（木）
つくば市市長公室広報広聴課

- 1 「つくば市市民参加推進に関する指針」（案）及び「つくば市市民公募委員の選考等に関する要綱」（案）のパブリックコメントの実施について
- 2 つくばSDGsフォーラムの開催について
- 3 「第 45 回筑波山梅まつり」の開催について
- 4 第17回チャレンジアートフェスティバルinつくば
- 5 つくば市イベント情報（平成 30 年 2 月， 3 月）

<p>件名</p>	<p>「つくば市市民参加推進に関する指針」（案）及び「つくば市市民公募委員の選考等に関する要綱」（案）のパブリックコメントの実施について</p>
<p>内容</p>	<p>1 趣旨 市政への市民参加の機会を適切に確保し、より一層の市民参加を推進していくために、市民参加推進に関する指針及び市民公募委員の選考等に関する要綱を策定する。 今般、有識者や市民公募委員からなる「つくば市行政経営懇談会」から意見をいただきながら策定を進めている本指針等について、市民の意見を反映させるためパブリックコメントを実施する。</p> <p>2 意見募集期間 平成 30 年 2 月 2 日（金）～ 3 月 5 日（月） [32 日間]</p> <p>3 資料の閲覧場所 企画経営課（市役所 5 階）、市ホームページ、情報コーナー（市役所 1 階）、各窓口センター、各地域交流センター</p> <p>4 意見提出方法 上記閲覧場所（情報コーナーを除く）に直接持参（施設閉庁日を除く）、または企画経営課に郵送、FAX で送付。その他、市ホームページから Eメール、又は電子申請・届出サービスの入力フォームに必要事項を入力し送信。</p> <p>5 経過 平成 29 年 5 月～平成 30 年 1 月 行政経営懇談会による審議（6 回） 平成 29 年 12 月 部長等連絡会議報告、庁内意見照会、 市議会議員説明</p> <p>6 今後の予定 平成 30 年 3 月上旬 パブリックコメントに基づく調整 平成 30 年 3 月中旬 つくば市行政経営懇談会 平成 30 年 3 月 27 日 庁議 平成 30 年 4 月 1 日 運用開始予定</p>
<p>効果等</p>	<p>計画の策定に当たり、市民から幅広く意見を聴取することにより、計画に市民の意見を反映させることが期待できる。</p>

件名	つくばSDGsフォーラムの開催について
内容	<p>1 趣旨</p> <p>つくば市では、持続可能な都市構造の実現を図るため、高齢者や子どもたちをはじめとして、あらゆる層の人々が持続的に満ち足りた生活を営むことができるまちづくりを推進し、平成 24 年度に「環境未来都市構想」の基盤を支える低炭素都市である「環境モデル都市」に選定された。</p> <p>その後、環境モデル都市アクションプランに基づき取組を進めてきたが、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた 17 の SDGs のゴールを活用して、持続可能なまちづくりの取組を発展させたいと考える。</p> <p>こうした取組を始めるに当たり、市民参画が図られた施策推進を目指すため、市民の皆様と SDGs について考える機会として当該フォーラムを開催する。</p> <p>2 開催概要</p> <p>日時：平成 30 年 2 月 19 日（月）18：00～20：30（会場 17：15）</p> <p>場所：つくばカピオホール</p> <p>参加費：無料（事前登録制 ※専用登録フォームあり 定員 300 名）</p> <p>主催：つくば市</p> <p>後援：内閣府地方創生推進事務局，国際開発学会「持続可能な開発と SDGs 研究部会」</p> <p>※プログラムは別紙パンフレットを参照</p>
効果等	<p>つくば市では、SDGs を世界共通のフレームとして捉え、地方創生の取組推進に活用を図ることを検討しており、市民、企業を対象として SDGs の基礎知識及び活用手法、自らの役割を周知することにより、市政参画を推進するとともに、新たなビジネスモデルや様々な人々の活躍の場の創出を推進することができる。</p>

<p>件名</p>	<p>「第 45 回筑波山梅まつり」の開催について</p>
<p>内容</p>	<p>1 趣旨 早春の筑波山観光誘客事業の一環として、筑波山梅林を会場に梅まつりを開催し、もって本市の観光振興及び地域活性化を図る。</p> <p>2 期間 平成 30 年 2 月 14 日（水）～ 3 月 21 日（水・祝）</p> <p>3 場所 筑波山梅林（つくば市沼田）</p> <p>4 内容</p> <p>(1) 開園祭及び開園式 日時：2 月 14 日（水）11:00～ 場所：梅まつり会場特設ステージ（イベント広場）</p> <p>(2) 梅茶サービス《毎日》</p> <p>(3) いろり梅見《毎週土・日曜日》</p> <p>(4) 梅を使ったグルメ「梅食（うめーしょく）」の販売《毎日》</p> <p>(5) つくば観光大使のお出迎え《毎週土・日曜日》</p> <p>(6) 野点茶会《有料・毎週日曜日》</p> <p>(7) ステージ（筑波山名物ガマの油売り口上等）《毎日》</p> <p>(8) 同時開催イベント ・筑波山地域ジオパーク 梅林ミニジオツアーの開催 《3 月 16 日（金）・17 日（土）》【主催：筑波山地域ジオパーク推進協議会】 ・筑波山新酒祭 《3 月 4 日（日）》筑波山水系の酒蔵 5 蔵が集結</p> <p>5 交通・駐車場対策</p> <p>(1) 梅林内無料循環バス（ワンボックスカー）の運行《毎日》</p> <p>(2) 駐車場 ・市営駐車場（普通車 458 台，大型車 19 台），臨時駐車場約 100 台 （駐車料金：普通車 500 円/回，大型車 2,000 円/回）</p> <p>(3) 車両通行止め《期間中毎日》 ・区間 林道沼田新田酒寄線（おもてなし館入口下～酒寄丁字路間） ・時間 9:00～16:00</p> <p>6 来場予定者数 約 16 万人（昨年度実績 約 15 万人）</p> <p>7 主催 筑波山梅まつり実行委員会・（一社）つくば観光コンベンション協会</p> <p>8 共催 つくば市</p>
<p>効果等</p>	<p>筑波山梅林をはじめとした、本市の観光スポットの魅力を広く発信することにより、市内外から筑波山周辺地域等への観光誘客の促進が期待できる。</p>

イベント等名	第17回チャレンジアートフェスティバルinつくばの開催について
1 趣旨・目的	<p>障害のある市民が制作した作品の展示と演劇等の舞台発表を通して、当事者の方々の生きがいを高め、自立と社会参加を促進するとともに、障害者に対する市民の理解と認識を深めることを目的として開催します。</p>
2 日時	<p>(1) プレ企画：平成30年2月25日（日）14：00～16：30(要予約) (2) 舞台発表：平成30年3月3日（土）10：00～16：00 (3) 作品展示：平成30年3月6日（火）～平成30年3月11日（日） 9：30～17：00（最終日は15：00まで） オープニングイベント 3月6日（火）14：00～15：00 クロージングイベント 3月11日（日）14：00～15：00</p>
3 場所	<p>(1) プレ企画：老人福祉センターとよさと（つくば市遠東639） (2) 舞台発表：つくばカピオホール（つくば市竹園1-10-1） (3) 作品展示：茨城県つくば美術館（つくば市吾妻2-8）</p>
4 内容	<p>障害のある方が制作した絵画や造形物の展示、ダンスや太鼓、劇の発表、ワークショップなど。福祉団体等による食品や製品の販売もあります。</p> <p>また、今回はプレ企画として「スガウォン慈悲福祉タウン（韓国）・湘南亀組（神奈川県）」のグループを迎えての交流イベントも予定しています。</p>
5 対象者等 （対象者・参加予定者・実績など）	<p>(1) 対象者 一般市民および障害のある方 (2) 参加予定者 市内の障害者団体、ボランティア (3) 昨年度の実績 ①舞台発表：参加者 465名、来場者1305名 ②作品展示：参加者1045名、来場者1642名</p>

<p>6 主催等 (主催・共催・後援 ・協力など)</p>	<p>主催 つくば市, チャレンジアートフェスティバル実行委員会 (実行委員会事務局 つくば市社会福祉協議会)</p>
<p>7 特記事項 (改善点・工夫点・ 参加者の特徴など)</p>	<p>今年度の特徴</p> <p>(1) 舞台発表 「湘南亀組(神奈川県)」によるパントマイム パフォーマンス</p> <p>(2) 作品展示 ・友好都市 荒川区からの出展(共同作品7点) ・オープニングイベントにおける「たけとんぼ」 による四重奏と歌のミニコンサート ・クロージングイベントにおける「県立竹園高等 学校合唱部によるミニコンサート</p> <p>(3) プレ企画 日韓福祉交流の集い(パフォーマンス, 事例 報告, シンポジウム)</p>